

～^{みらい}目標に向かって諦めず 相談し合って ベストを尽くす～

本県学校教育指導方針

すべての子どもの可能性を引き出す
活力ある学校づくり
働き方改革の推進による



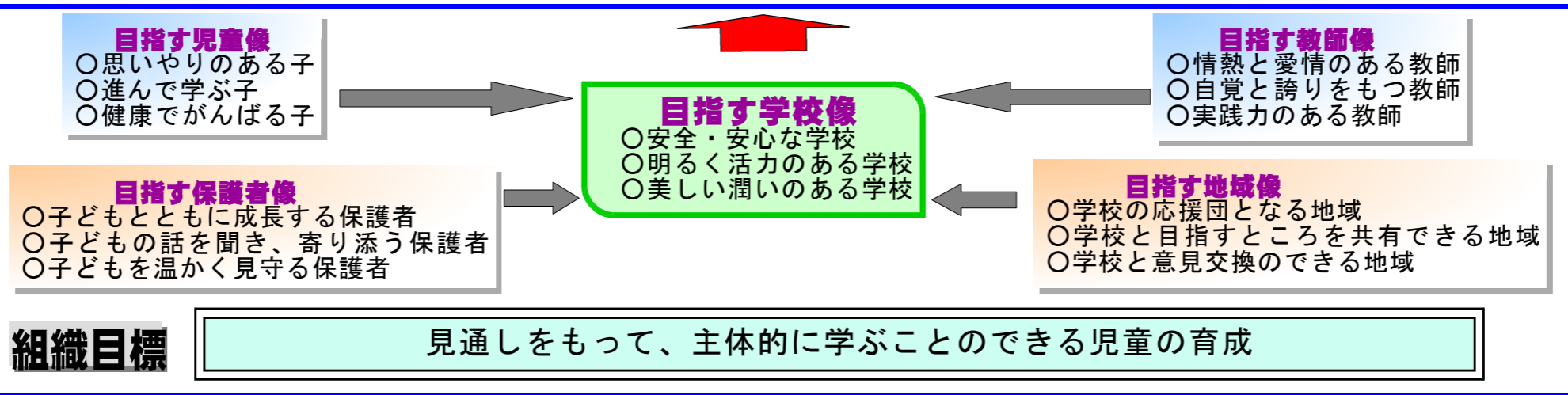
宗道小は持続可能な開発目標 (SDGs) を支援しています。

下妻市立宗道小学校

学びを人生や社会に
生かそうとする
人材の育成
～指導から教育へ、指導から支援へ、
指導から経営へ～

校内研究テーマ

見通しをもって、主体的
に学ぶことのできる児童の
育成
～単元計画の作成と振り返り
の充実を通して～



重点目標

インクルーシブ教育の充実

- ユニバーサルデザインや合理的配慮の視点を取り入れた授業づくり
- 外国人児童に対する適応指導と日本語指導の充実
- 特別支援教育コーディネーターを中心に、チームとしての効果的な支援体制の確立
- 校内支援委員会を中心とした支援体制の充実
- 特別支援学校、医療機関等関係機関との積極的な連携
- 多様性を理解する人権教育の実施

教師一人一人の力量を高め、
信頼される教職員の育成

- 「笑顔いっぱい！チーム宗道」を合い言葉に互いを高め合う教師集団の育成
- ICT活用指導力を高める校内研修の実施と情報モラル
- 端末使用ルール等の共通理解
- 会計年度職員を含む全職員による校内コンプライアンス推進委員会の取組の充実100%
- 日課表・時間割の工夫による教員の研修、事務時間の確保
- 働き方改革の推進
年360時間以内100%
- 求める研修、若手とベテラン教員が協働したOJTによる校内研修の推進
- 相互授業参観の推進

学力向上プロジェクト

グループ目標

読んで、考えて、
伝える力の育成

- 伝え方を意識した授業改善と基礎・基本の定着による学力向上
 - 4つの視点を大切にした授業改善
 - 「主体性の育成」：導入学習課題の工夫
 - 「読む力の向上」：音読奨励とレベルアップ初見文章を読む発展学習の位置付け
 - 「話し合い活動の充実」：読者の声(ペア・グループ・全体)、思考ツールの活用、話し合いマニュアルの活用(伝え方の工夫)
 - 「振り返りの共有化」：ICT機器の活用
 - 読書活動の充実と時間確保
 - 朝の読書タイムの工夫：物語を読む時間の確保
 - 漢字力・計算力テストの計画的実施
 - 百マス作文の徹底

【評価指標】
 児：自分の考えを進んで表現 80%
 児：漢字力・計算力テスト合格率
 低(1・2・3年生) 85%
 高(4・5・6年生) 85%
 児：50冊読破達成率 95%

○学習のしつけや家庭学習習慣の確立

- 「学習のやくそく」の徹底
- 家庭学習強化週間の設定：「ファミリーデー」学期1回の実施
- 小中学校での連携
- 家庭での読書時間の確保(図書室の本の貸し出し)

【評価指標】
 児・教：「学習のやくそく」の定着 85%
 児・教・保：家庭学習時間の確保(学年×10分+10分) 85%
 児・教：学校・家庭での読書時間の確保 80%

豊かな心の育成プロジェクト

グループ目標

相手の心を意識した
伝える力の育成

- 心のつながりを大切にした児童会活動の充実
 - 学年、学校行事等による体験学習・異学年交流の推進(縦割り清掃・ICTの活用)
 - 「あいさつ運動の実施」：各学級ごと
 - 児童会を中心としたボランティア活動の推進(落ち葉掃き、地域への貢献・恩返し)取組の見える化
 - 情報モラル教育の実施とICT端末利用時のルールの徹底(全校一斉年3回 年度初め 夏休み前 冬休み前)

【評価指標】
 児・保・教：あいさつ、ちょボラに進んで取り組む 80%
 児・教：タブレット活用のルールをよく守って使うことができる 90%

○誉めたり、認め合ったりする活動の充実

- 相手意識、道徳教育の充実(道徳授業の相互参観、校内研修の充実)
- 相手意識、自己有用感の向上
- 授業、帰りの会等での自分や友達のよさを認め合う取組(今日のキラリ)
- 定期的なキャリアパスポートの活用(友達や家庭、地域と連携したキャリア教育の充実)年間5枚程度(年度始 運動会 持久走大会 遠足宿泊学習修学旅行 年度末)
- 係、当番活動における役割や責任の遂行

【評価指標】
 児・保・教：自分のよいところを知っている 80%
 友達のよいところを見つけられる 85%

強い心と身体の育成プロジェクト

グループ目標

心身の健康と
自己管理能力育成

- 授業や休み時間を活用した体力づくり運動の推進
 - トレーニングタイムの実施(持久走：11月 なわとび：1月)
 - 体育の授業における、準備体操の充実
 - 体力向上に向けた運動時間の確保
 - 「昔遊び」を通じて、外遊び時間の確保
 - 食事・運動時間・生活リズムの振り返り

【評価指標】
 児：体力テストA+B 60%
 児・教：進んで運動する 85%

○安全や健康に対する自己管理能力の向上

- 「交通安全教室」「通学班長・副班長会議」の実施
- 自分の健康を考えた熱中症、感染症対策の奨励(マスク・手洗い・消毒・うがい・歯みがき・水分補給)
- 「早寝・早起き・朝ごはん」等の推進
- 専門家による保健指導・食育指導の全年実施
- 健康手帳や清潔調べによる点検と啓発(定期的に実施)
- 保健委員会による低学年へのトイレの使い方の指導(4月)
- 長期休業中には、「生活カレンダー」の活用→家庭との連携

【評価指標】
 児・教・保：安全な生活 85%
 児・教・保：健康な生活 85%

重点目標

SDGsの推進と
自己管理能力の育成

- SDGsの視点からの指導計画の改善(総合的な学習の時間等)
- 自己管理能力を身に付けさせるための発達段階に応じた保健・安全教育の充実
- 学校生活における安全管理の徹底と障害等のある児童に対する安全指導の徹底
- 近い将来の地震に備えた避難訓練、危機管理マニュアルの見直し・改善と共通理解
- 交通事故等の未然防止

社会に開かれた学校づくりの
推進(コミュニティ・スクールの
運営)

- コミュニティ・スクールの充実と地域と一体となった活動
- 学校運営協議会の定期的な実施
- 地域の教育力と人材を生かした教育活動の実施
- 学校の様子を保護者に伝えるためのホームページや便り等による積極的な情報発信
- PTA活動、学校行事等の実施方法の検討
- 民生委員児童委員や関係機関との情報共有

これらのすべての土台は「一人一人を大切にする人権意識」もつことである